

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法			担当教員	福地 淳宏
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2EPG202
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場や行政の経験を生かし、学校の教育活動の意義や教師の役割、児童・生徒への具体的な指導の在り方等について、実例を通して講義する。				
到達目標及びテーマ	特別活動及び総合的な学習の時間の特質や意義、教育課程における位置付けや役割を理解し、具体的な指導や実践的・問題解決的な能力を身に付ける。その中で、①児童会（生徒会）活動や学校行事等の具体的な目標が設定できる。②集団でのよりよい生活・人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度や指導力を身に付ける。③話し合い活動や適応指導の必要性を理解し、集団の中で自己を生かす能力育成の必要性を理解する。④探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習の必要性、協働で問題解決することの必要性を理解する。				
授業の概要	特別活動や総合的な学習の時間の目標と内容、指導計画の作成と内容の取扱い等についての理解においては、先駆的实践例を豊富に紹介し理念と実践をつなげられるよう配慮する。そして、生きる力（資質・能力）の育成に当たっては、特別活動、総合的な学習の時間、特別の教科道徳との有機的連携を図り、望ましい人間関係の育成を意図した適応指導や自治的活動・学校行事等の改革に向けた指導計画づくりや授業展開の在り方を重視する。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション、教育課程における特別活動と総合的な学習の時間の位置付け、具体的な学習活動 小課題：学習指導要領の改訂の経緯と「資質・能力」とは何かについて知る。テキストP1～10参照
第2回	特別活動の目標と内容、教育的意義 ・学級（ホームルーム）活動、児童会（生徒会）活動、クラブ活動、学校行事 小課題：特別活動の内容について、自らの経験を踏まえて整理する。テキストP11～135参照
第3回	特別活動創設の歴史的な背景と実践課題 ・特別活動の歴史と学校現場の実践上の課題について 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、特にキャリア教育について考えをまとめる。テキストP43～83参照
第4回	学級活動の内容と指導の在り方① ・話し合い活動（自治的・自発的活動）の具体と合意形成における指導の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自らの「学級会」の経験についてまとめる。テキストP43～52参照
第5回	学級活動の内容と指導の在り方② ・よりよい人間関係の形成と自己実現を図る学級活動（適応指導）の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP52～62参照
第6回	児童会（生徒会）活動、（クラブ活動）の目標と特質 ・内容の取扱いと指導上の留意点 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自分が実践したい活動のイメージをまとめる。テキストP84～115参照
第7回	学校行事の内容と指導の在り方 ・儀式的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自分が実践したい活動のイメージをまとめる。テキストP116～135参照
第8回	学校行事を核とした学校・学級経営の在り方と児童（生徒）の評価、指導の在り方 小課題：教員になったら、特別活動の何をどのように工夫・実践したいか。（レポート）
第9回	総合的な学習の時間への期待① ・社会の変化と総合的な学習の時間創設の背景、学力の捉えと学習指導要領改訂から 小課題：学習指導要領改訂の経緯と総合的な学習の時間の趣旨についてまとめる。テキストP1～7参照
第10回	総合的な学習の時間への期待② ・総合的な学習の時間創設の経緯と学校現場における実践の現状 小課題：テキストをもとに各学校が定める具体的な内容をまとめる。テキストP73～88参照
第11回	総合的な学習の時間の目標・内容と求められる学び ・総合的な学習の時間における探究的な学びのサイクル 小課題：探究的・協働的な学び、主体的・対話的で深い学びなどについてまとめる。テキストP9～34、P111～123参照
第12回	総合的な学習の時間の特質 ・各学校が設定する探究課題と実現したい学びの姿 ・探究活動と考えるための技法 小課題：思考ツール等を活用した話し合いの集約の具体例を作成する。テキストP73～88参照
第13回	総合的な学習の時間の先駆的事例及び指導構想 ・具体的実践を基に総合的な学習の時間をどうデザインするか考える 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。資料参照
第14回	総合的な学習の時間の指導計画と実践事例 ・カリキュラム・マネジメントによる指導計画の工夫と実践事例 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP66～107参照
第15回	総合的な学習の時間における学校現場の評価の在り方と学校・学級経営 小課題：教員になったら、総合的な学習の時間をどう設計・実践したいか。（レポート）テキストP124～146参照

事前学修	2時間	毎時間、次時の学習内容に関する「小課題」を提示し、各自がその課題について調べたり、自分の経験を想起したりして学習する。
事後学修	2時間	毎時間、講義の内容を「用意した学習ノート」に各自が分かりやすく整理し、小課題を含めた毎時間の学習ノートを事後学習で完成させる。（次時に提出）
フィードバックの方法	毎時間の学習ノートと小課題を提出させ、一人一人の学び方と取組姿勢を評価し小課題の最適解を紹介する。また、レポートは、個別にコメントし学びを総合的に評価・指導して返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	2回（第8・15回）のキーワードを基にしたレポート内容
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業での討論参加状況および毎回の学習ノート（含：小課題）の記録内容
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
小学校学習指導要領解説（特別活動編）	文部科学省	東京書籍	978-4-487-28709-3	なし
小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）	文部科学省	東京書籍	978-4-487-28708-6	なし
参考資料				

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法			担当教員	柘植 良雄
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2EPG202
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場や行政(人事及び教科等指導)の経験を生かし、学校の教育活動の意義（特に学級経営）や教師の役割、児童・生徒への具体的な指導の在り方を事例を通して講義する。				
到達目標及びテーマ	特別活動及び総合的な学習の時間の特質や意義、教育課程の「要」としての位置づけや役割が理解でき、学級経営を進める上での具体的な指導の仕方や問題解決の方法を身に付ける。その中で、①児童会（生徒会）活動や学校行事等の具体的な目標を設定したり、②集団でのよりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度や指導力を身につけたりする。また、③学級経営における話し合い活動や適応指導の必要性を理解し、集団の中で自己を生かすための場の設定や内容を具体的に論ずることができる。そして、④探究的、協働的な学び、教科等横断的・総合的な学習の必要性を踏まえて、総合的な学習の時間の指導計画を作成することができる。				
授業の概要	特別活動や総合的な時間の目標と内容、指導計画の作成と内容の取り扱い等についての理解においては、先駆の実践例を豊富に紹介し理念と実践をつなげられるよう配慮する。そして、生きる力（資質・能力）の育成にあたっては、特別活動、総合的な学習の時間、特別の教科道德との有機的連携を図り、特に望ましい人間関係の育成を意図した適応指導や自治的活動・学校行事等の改革に向けた指導計画づくりや授業展開の在り方を重視する。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、事前・事後学習について） ・教育課程における特別活動と総合的な学習の時間の位置づけ、具体的な特別活動と総合的な学習の時間（画像等での事例）の振り返り 小課題：新学習指導要領の改定の経緯と「資質・能力の育成」とは何か。テキストP1～10参照
第2回	特別活動の目標と教育的意義 ・学習指導要領（特別活動の目標）と内容 学級活動（ホームルーム活動）、児童会（生徒会）活動、クラブ活動、学校行事 小課題：テキストを熟読し、特別活動の具体的内容について自らの経験をもとに振り返り、整理する。テキストP11～42、P84～115参照
第3回	特別活動創設の歴史的な背景と各活動の目標 ・特別活動の歴史と学校現場の実践的課題について 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、特にキャリア教育についての日々の指導の在り方を考える。テキストP43～83参照
第4回	学級活動の内容と指導の在り方① ・話し合い活動（自治的・自発的活動）の具体（実践例）と合意形成における指導の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。また、「いじめ」の定義の変遷を調べる。テキストP43～52参照
第5回	学級活動の内容と指導の在り方② ・よりよい人間関係の形成と自己実現を図る学級活動（適応指導）の具体と授業展開の在り方（事例紹介） 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、本時のノートを詳細にまとめる。テキストP52～62参照
第6回	学級活動の指導の在り方③ ・重要課題「いじめ」の芽を摘む指導の在り方（事例紹介） 小課題：本時の事例について、自らの考えをまとめる。（レポート）
第7回	学校行事の種類と具体的な指導の在り方 ・儀式的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事の指導の具体と家庭・地域、関係機関との連携の在り方（事例紹介） 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP116～135参照
第8回	学校行事等を核とした学校・学級経営の在り方と児童（生徒）の評価、指導の在り方 小課題：自ら体験した特別活動を想起し、その意義や役割をこれまでの学習内容をもとにまとめる。（レポート）
第9回	総合的な学習の時間創設の意図 ・世の中の変化と「総合的な学習の時間」創設① ・なぜ総合学習ができたのかを現行学習指導要領の趣旨から捉える。またNHKビデオと自らが経験した総合学習と比較し違いを明確にする。 小課題：新学習指導要領の改定の経緯と総合学習の趣旨は何か。テキストP1～7参照
第10回	総合的な学習の時間の実際（学校現場の画像等紹介） ・世の中の変化と「総合的な学習の時間」創設② 小課題：テキストをもとに各学校が定める具体的内容まとめる。テキストP73～88参照
第11回	学校現場における総合的な学習の時間の実施状況と課題 ・世の中の変化と「総合的な学習の時間」創設③ 小課題：総合学習における探究的・協働的な学びのサイクル、主体的・対話的で深い学び、環境整備とは何かをテキストをもとにまとめる。テキストP9～17、P111～123、P140～146参照
第12回	総合学習の小・中・高の目標と学習過程 ・各学校で設定する目標と内容の具体総合学習の内容と特質 ・探究的・協働的な学びのサイクル、主体的・対話的で深い学びとは 小課題：本時の学習内容をテキストを基に整理する。テキストP35～65参照
第13回	総合的な学習の時間における実施上の課題と問題点 ・教科横断的（汎用的）な力の育成に立った指導のあり方 小課題：思考ツール等を活用した話し合いの集約の具体例を作成する。資料参照

第14回	総合的な学習の時間の先駆的な事例紹介（小・中・高）・カリキュラム・マネジメントの発想に立った指導計画作成の工夫・総合的な学習の時間と教科・道徳との有機的関連各教科内容との関連 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP19～34参照
第15回	ある自治体の「未来の学校」の実践をビデオ等で視聴し、これをもとに追究課題を設定し、小・中学校で考えられる総合的な学習の時間における指導計画を作成する。 小課題：指導計画の作成（レポート）テキストP106、107、P124～136参照

事前学修	2時間	毎時間、次時の学習内容に関する「小課題」を提示し、各自でその課題について調べたり、自分の経験を想起したりして文章化し、講義を振り返る。
事後学修	2時間	毎時間、講義の内容を「用意した学習ノート」に各自が分かりやすく整理し、小課題を含めた毎時間の学習ノートを事後学習で完成させ、携帯で写真に撮り提出する。（JPEGファイルでユニバにアップする）
フィードバックの方法	毎時間の学習ノートと小課題をもとに、一人一人の学び方と取り組み姿勢を評価し、小課題の最適解を紹介する。また、レポートについては個別にコメントし、学びを総合的に評価・指導できるようにする。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		50%	2回（第8・15回他）のキーワードを基にしたレポート内容
上記以外の試験・平常点評価		50%	授業での討論参加状況および毎回の課題等の記録内容
定期試験		0%	
補足事項	コロナ等の感染状況を考え、オンライン授業でも対応できるように、事前にノートと講義資料をPDFファイルでユニバにアップしておきます。対面授業が基本であり、ノートはその都度授業で配布します。毎回、授業後に各自でノート（本時の記録と課題）を整理し、携帯カメラでノートの表と裏を別々に撮影し（jpegファイル）、必ず期日までにユニバにアップしてください。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
小学校学習指導要領解説（特別活動編）	文部科学省	東洋館出版	978-4-491-03469-0	C3037
小学校学習指導要領解説（総合的な学習編）	文部科学省	東洋館出版	978-4-491-03468-3	C3037
参考資料				